

新たな顔ぶれ決まる

平成29年深谷市議会第2回定例会



6月2日から22日まで21日間の日程で開かれました。市長から提出された補正予算など議案13件を審議しました。一般会計補正予算は産業拠点推進事業による増額補正など合わせて2億6679万6千円です。



副議長 中矢寿子

議長 吉田幸太郎

6月2日議会初日、投票により議長・副議長が選出されました。

盛夏の候。市民の皆様にはご健にてお過ごしのことと拝察いたします。深谷市議会第2回定例会におきまして、議員各位のご推挙を賜り私も議長・副議長の要職に就任いたしました。皆様に信頼して頂ける深谷市議会を目指し、身を挺して邁進する決意です。

さて、深谷市も合併後11年余が経過しました。本年度は、「深谷市総合振興計画」の最終年度になり、次の新たな10年を方向付ける「総合計画」策定の年

でもありません。この計画は、本市の進むべき方向性を示す市政の根幹となるものであり、魅力あふれる深谷市をつくるために策定されるものです。

私も深谷市議会といたしまして、積極的に政策を提言し、本市の更なる発展のため執行機関とともに全力を尽くしてまいります。と考えております。

今後とも市民の皆様の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

6月定例会 議案に対する各議員の賛否（一部掲載）

議案	会派名（※）													審議結果											
	深谷同志会			深政クラブ		深和会		公明党		共産党		彩新			深成会										
議員名	角田義徳	茂木一郎	富田勝	武井伸一	清水健一	柴崎重雄	馬場茂	加藤利江	吉田幸太郎	倉上由朗	高田博之	新井清	仲田稔	五間くみ子	三田部恒明	中矢寿子	清水修	佐久間奈々	鈴木三男	村川徳浩	田島信吉	為谷剛	石川克正	松本政義	
総合健診センター条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産取得	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	水槽付消防ポンプ自動車	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
市道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
市道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
指定管理者の指定の期間の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
損害賠償の額を定め、和解すること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
監査委員の選任につき同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

※会派名は、共産党は日本共産党、彩新は彩新クラブです。 ※議長は可否同数のみ採決に参加します。 ※○は賛成、×は反対、-は除斥です。

一般会計補正予算 (産業拠点推進事業)

アウトレット誘致を核とする花園IC拠点整備プロジェクトについて、開発手法を土地区画整理手法に変えたこと等による増額補正です。

Q 補正額1億5113万8千円の内訳は。

A 換地設計業務等の委託費が約7千万円。用地購入費約3200万円。秩父鉄道新駅整備の負担金の増額分として約4900万円である。

Q 土地取得単価は。

A 一平方メートル単価でおおむね1万円である。

反対討論

駅が地元住民の利便性の向上に資するか疑問のため反対。

鈴木 三男

①開発手法変更での計画変更と収支の見直しの説明がないまま計画の再検討の機会も失われている。本来なら集中議論されるべき。

②新駅は当初開発に必要だったが、現在は必要性が消失している。代替案もある。コスト比較やリスク検討せずに予算執行は時期尚早。

③議決前に駅着工と予算が新聞報道された。議会の議論をささげるような既成事実化がされるなど議会軽視の運営が常態化している。

④50億円の税金投入をするにもかかわらず、説明不足や秘匿される事柄が多い。以上4つの理由から反対。

加藤 利江